

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年07月21日

計画の名称	東洋町災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	東洋町												
計画の目標	本町においては、発生予測が困難で甚大な被害が想定される「南海トラフ巨大地震」や、頻発する大型台風やゲリラ豪雨による風災害、日常生活において発生しうる火災や救急要請など、規模や頻度の異なる災害への対応が求められている。 本計画では、避難場所・避難経路・防災広場や防災まちづくり拠点施設を整備することにより、避難対策の充実、強化を進め、災害に強いまちづくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	525	A	447	B	0	C	78	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	14.85	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初		H33末
1	津波・洪水等による浸水被害を軽減させる。 津波避難困難地域における避難対象者数の減少 津波避難困難地域における避難対象者数 / 全地域避難対象者数2,634名	64%	%	0%
2	防災機能強化の推進及び住民の防災意識向上を図り、安全に避難できる人口を増加させる。 津波災害において避難が可能となる避難所の収容人数の増加 避難所収容者数 / 全地域避難対象者数2,634名	10%	%	14%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 東洋町役場総務課	事後評価の実施時期 令和5年6月 公表の方法 東洋町ホームページ
-----------------------	---

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・津波に対する困難対象地域を一部解消することができた。 ・避難所の収容人数の増加ができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き津波避難困難地域を解消するために、避難路の整備や避難施設の整備を行う。 ・防災訓練等を実施し、防災意識の向上を図る。
--

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	64	
	最終目標値	0%
	最終実績値	29%
2	10	
	最終目標値	14%
	最終実績値	17%